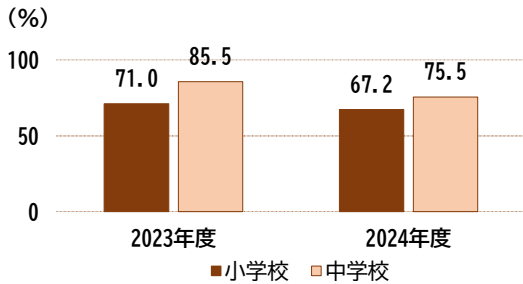


施策 14

子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実

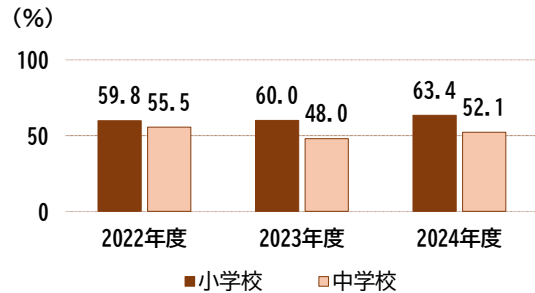
現状データ

授業でPC・タブレットなどのICT機器を週3日以上使っている児童・生徒の割合



出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている児童・生徒の割合



出典：中野区学力にかかわる調査

現状と課題

- 学校では「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を育む教育を進めているところですが、学校教育に適應することが難しい子どもが増えています。すべての子どもに「生きる力」を育むためには、子どもたち一人ひとりの特性に応じたきめ細かな教育を充実する必要があります。
- 体力テストの結果のみを重視するのではなく、一人ひとりに応じて運動の楽しさを実感させ、健康で安全な生活につながるよう指導の工夫を図る必要があります。
- 教員のICT活用に関する指導力は全般的に向上し、児童・生徒がICTを活用する学習活動も充実してきていますが、いまだに小学校では約33%、中学校では約25%の児童・生徒がICTを日常的に活用できていません。今後も効果的なICTの活用について改善を図っていく必要があります。
- ALT*の活用や小学校低学年からの外国語に親しむ授業の実施、英語で学ぶ体験活動などを実施しており、2024年度CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は、62.8%で全国5位にあたります。一方で、「英語の勉強が好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、小・中学校ともに70%以下であり、英語を学ぶ意欲の向上を図っていく必要があります。
- 保幼小中連携教育が推進され、校種を越えて教職員同士がカリキュラムに関する連携を定期的に行い、各中学校区が育てたい子どもの姿を設定していますが、学校間での取組に差があります。そのため、各中学校区の目標達成に向けた具体的な取組を充実する必要があります。

- 「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、子どもたちが中心となり学校行事を企画・運営したり、学校生活を見直したりする取組を実施しています。一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り開く力を育む教育を進めるためには、様々な場面で子どもを主体とした学校教育をを一層充実する必要があります。

施策の方向性

- ▶ 子どもたちが確かな学力を身に付けられるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる取組をより一層推進します。
- ▶ 子どもたちが、健康や運動に関する知識を身に付け、運動の楽しさを実感し、生涯にわたり心身ともに健康で安全に過ごすことができる教育を推進します。
- ▶ 子どもたちが、情報活用能力や国際社会で活躍できる能力など、社会の変化に対応した力を身に付けることができる教育を推進します。
- ▶ 保育園、幼稚園、小・中学校の連携による学びの連続性を大切にされた教育を推進します。
- ▶ 子どもの意見を尊重した教育活動を推進し、子どもの権利を自分事と捉えられるよう取組を充実します。

成果指標と目標値

成果指標	単位	指標設定の理由	現状値	2030年度目標値
①自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、すすんで取り組んでいる児童・生徒の割合	%	「生きる力」を身に着ける児童・生徒の主体的な活動の実践状況を計るため	小学校：72.0 中学校：76.3 (2024年度)	小学校：80 中学校：85
②授業でPC・タブレットなどのICT機器を週3日以上使っている児童・生徒の割合	%	児童・生徒のICT機器を活用した学習の定着状況を計るため	小学校：67.2 中学校：75.5 (2024年度)	小学校：100 中学校：100

(出典) ①中野区学力にかかわる調査 ②全国学力・学習状況調査(文部科学省)

主な取組

①一人ひとりに応じた学習指導の推進

指導室

個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、教職員の指導力向上に向けた取組を推進します。

主な事業 ◎教員の人材育成事業 ◎小中連携教育

②健康・体力を育む教育の推進

指導室、学務課、スポーツ振興課

学校活動における様々な場面で、運動機会の提供や運動習慣の定着に取り組み、子どもたちが健康や運動に関する知識を身につける教育を推進します。また、学校部活動において、生徒がスポーツに取り組む環境を充実するため、学校とスポーツ関係者のマッチングを図り、部活動の地域移行を進めます。

主な事業	○健康教育（性教育、がん教育等） ○海での体験事業 ◎体育事業 ◎部活動の地域連携・地域展開の推進 ◎地域スポーツクラブ事業
------	---

③社会の変化に対応した教育の充実

指導室

進展するデジタル技術を正しく活用する方法を理解し、情報に基づいた選択ができるように取り組んでいきます。プログラミング的思考・情報モラル等に関する資質・能力を含む情報活用能力を教科等横断的に育成します。また、グローバル化の進展に対応し国際社会で活躍できる人材を育成するため、外国の言葉や文化などの理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーションを楽しみながら実践する機会を充実します。さらに、子どもたちの読書活動を学校図書館の蔵書の更新と電子書籍の活用の両面から充実していきます。

主な事業	◎ICTを活用した教育の推進 ◎国際理解教育 ◎学校図書館運営
------	---------------------------------

④保幼小中連携教育の充実

指導室、子ども・教育政策課

各中学校区の目標達成に向け、保育園、幼稚園、小・中学校が連携して取り組みます。

主な事業	◎保幼小中連携教育
------	-----------

⑤学校教育における子どもの権利の推進

指導室

学校の教育活動の中で「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を学ぶとともに、様々な場面で子どもを主体とした学校教育を充実していきます。

主な事業	◎子どもの意見を反映させた教育活動 ○「中野区子どもの権利に関する条例」の周知と啓発
------	---

事業の展開

前期	後期
教員の人材育成事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育向上事業の全校研究校指定 ●教育管理職育成プログラムの実施 ●初任者研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育向上事業の見直し ●教育管理職育成プログラムの発展 ●中堅教員研修の充実
小中連携教育	
<ul style="list-style-type: none"> ●中学校区の特色を生かした連携研究の推進 ●区独自の英語カリキュラムの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校区の特色を生かした連携研究の充実 ●区独自の英語カリキュラムの充実
体育事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●「中野区体力健康プログラム」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「中野区体力健康プログラム」の改訂
部活動の地域連携・地域展開の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ●部活動地域展開の段階的实施 ●スポーツ・コミュニティプラザを活用した事業の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●部活動地域展開の全面実施 <p style="text-align: center;">➡ 推進</p>
地域スポーツクラブ事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ・コミュニティプラザを活用した事業の拡充 ●スポーツ・コミュニティプラザ運営の見直し検討 ●公認クラブ募集・選定 ●地域スポーツクラブのあり方の検討 	<p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p>
ICT を活用した教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ●中学校における生成 AI の全校導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●全校導入
国際理解教育	
<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学校全校における ALT の充実 ●区独自の英語教育の充実 ●英語習得 AI アプリの導入検討 	<p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●英語習得 AI アプリの全校導入

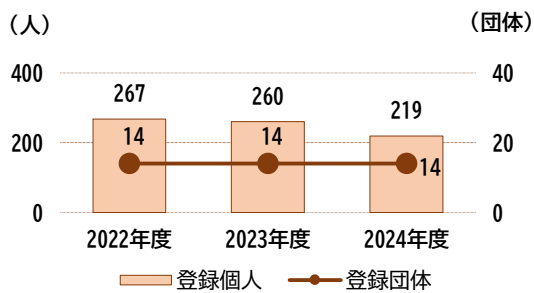
前期	後期
学校図書館運営	
<ul style="list-style-type: none"> ●小学校における電子書籍アプリの全校導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校における電子書籍アプリの有効活用の全校展開
保幼小中連携教育	
<ul style="list-style-type: none"> ●「中野区就学前教育プログラム改訂版」の見直し、改訂 ●中学校オープンキャンパスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●「（仮称）中野区就学前教育プログラム再改訂版」に基づく取組の実施 ●中学校オープンキャンパスの見直し
子どもの意見を反映させた教育活動	
<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの意見を反映させた学校行事の実施 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 推進 </div>

施策 16

特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進

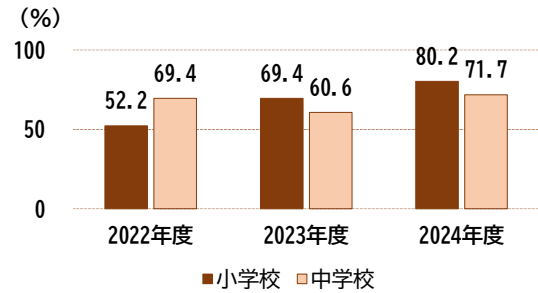
現状データ

学校支援ボランティア登録者、団体数



出典：中野区資料

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童・生徒の割合



出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

現状と課題

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の質問に肯定的な回答をする児童・生徒の割合は年々上昇傾向にあります。いまだに小学校では80.2%、中学校では71.7%となっています。学校は、地域の資源を活用した教育を充実していく必要があります。
- 全国で学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入が進むなか、中野区は、中学校区を単位とした地域学校運営協議会を進めてきましたが、学校固有の課題を協議することが難しい状況にありました。2025年度から国型の学校を単位とした学校運営協議会をスタートしました。今後は、学校運営協議会を通じ地域と学校がともに学校運営の改善について協議する機会を増やし、「地域とともにある学校」を推進していく必要があります。
- 中学校の部活動は、団体競技でチーム編成が難しいことや、専門的な指導ができる教員が不足しているため、部活動の維持が困難になっています。部活動を地域展開し、中学生が希望するスポーツや文化芸術活動を行えるようにする必要があります。

施策の方向性

- ▶ 地域での多様な体験活動を通じて、多くの人と関わり、協力する楽しさや社会の中で自分が役立つ喜びを味わうことで、社会性や郷土を愛する心等を育む教育を推進していきます。
- ▶ 学校ごとに設置した学校運営協議会をさらに活性化し、学校ごとの課題を学校・家庭・地域で協議し、よりよい学校の運営に活かしていきます。

成果指標と目標値

成果指標	単位	指標設定の理由	現状値	2030年度目標値
①「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童・生徒の割合	%	地域と連携した活動やボランティアを行った児童・生徒がさらに地域をよくしていきたいと考えられたかを計るため	小学校：80.2 中学校：71.7 (2024年度)	小学校：90 中学校：80
②まつりやイベントなどの地域の行事に参加したことがある児童・生徒の割合	%	学校と地域との協働が進むことで、児童・生徒の地域行事への参加率が向上すると見込まれるため	小学校：86.0 中学校：85.6 (2025年度)	小学校：90 中学校：90

(出典) ①全国学力・学習状況調査(文部科学省) ②中野区学力にかかわる調査

主な取組

① 地域での多様な体験活動

指導室

学校と地域の連携を強化し、地域の資源を活用した教育を充実していきます。

主な事業 ○地域での体験活動 ○地域人材を活用した授業

② 地域と学校の連携・協働の推進

子ども・教育政策課

学校単位に設置された学校運営協議会(コミュニティ・スクール)において、地域と学校がともに学校運営の改善について積極的に協議ができるよう、研修や運営などの支援を行うとともに、地域コーディネーターの活動をサポートすることで、地域コーディネーターを中心とした地域学校協働活動の充実を図っていきます。

主な事業 ◎学校運営協議会の運営支援 ◎地域コーディネーターの活動支援

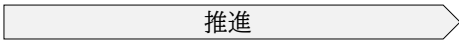
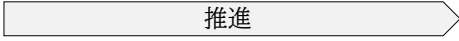
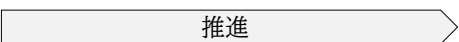
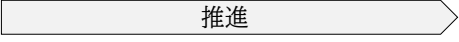
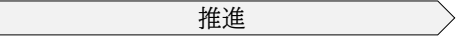
③ 部活動の地域展開の推進

指導室、スポーツ振興課

クラブコミュニケーター*を設置し、専門的な技術指導を受けられる体制を整えます。

主な事業 ◎部活動の地域連携・地域展開の推進

事業の展開

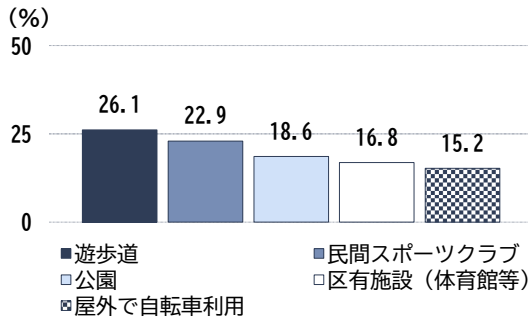
前期	後期
学校運営協議会の運営支援	
<ul style="list-style-type: none"> ●協議会委員を対象とした研修の実施 ●協議会間の情報共有及び協働活動の充実 ●協議会及び地域コーディネーター等の活動周知 	<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>
地域コーディネーターの活動支援	
<ul style="list-style-type: none"> ●研修、意見交換会の実施 	<div style="text-align: center;">  </div>
部活動の地域連携・地域展開の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ●部活動地域展開の段階的实施 ●スポーツ・コミュニティプラザを活用した事業の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●部活動地域展開の全面実施 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

施策 34

誰もが身近に運動・スポーツ活動に 取り組める環境づくり

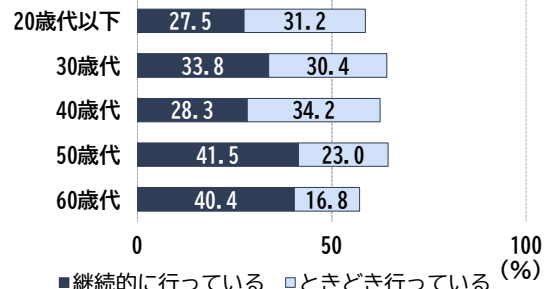
現状データ

運動・スポーツを行う場所



出典：2022 年度健康福祉に関する意識調査

1 回 30 分以上の運動を週 1~2 回以上行っている区民の割合



出典：2025 中野区区民意識・実態調査

現状と課題

- 体育館や公園、スポーツ・コミュニティプラザなど、区のスポーツ施設の利用人数は増加しているものの、定期的に運動を行う区民の割合は横ばいであり、運動習慣の定着に向けたさらなる取組が必要です。また、スポーツのできる公園の整備は進んだ一方で、学校開放の総開放日数は減少しており、身近なスポーツの場が減少しているため、既存の区有地の有効活用や民間事業者との協働を進める必要があります。
- スポーツ実施率は、全体的に上昇しているものの、20 歳代以下及び 60 歳代は他の年代に比べて、低い傾向にあります。生涯にわたる運動習慣定着のためには、これまで取り組んできた高齢層の健康づくりだけでなく、若年層の運動機会の定着、向上に取り組む必要があります。また、子どものスポーツ実施率は微増傾向にありますが、運動する子どもとしない子どもが二極化しており、幼少期から運動習慣を身に着ける必要があります。
- スポーツ・コミュニティプラザの施設利用人数や、地域スポーツクラブの運営に参加する公認クラブの認定数は増加傾向にあります。今後、地域住民が主体となった総合型地域スポーツクラブ*を目指するために、地域スポーツクラブ公認クラブ等団体の活動拡大など、区民が主体となって運営に関わる手段・仕組みを拡充する必要があります。
- 障害者の外出の主な目的における趣味・スポーツの割合は上がっており、障害者事業への参加状況は向上傾向にあります。東京 2025 デフリンピックの開催を契機とし、障害者スポーツを推進するだけでなく、障害のある人とない人がともにスポーツに親しむなど、共生社会推進の実現に寄与する必要があります。

- スポーツを支える活動に関わった区民の割合や、スポーツ推進委員の担い手が減少しています。また、中野区体育協会をはじめとする社会体育団体主催事業の参加者数や事業数が減少傾向にあります。そのため、中野区体育協会やスポーツ推進委員など、区のスポーツ振興を担う団体等を支援できる体制を強化していく必要があります。併せて、団体等との連携により、スポーツ機会の確保・拡充や区民のスポーツマインド向上に取り組む必要があります。

施策の方向性

- ▶ 区民が身近な場所で運動・スポーツ活動を行うことができる機会・環境を整えるとともに、運動・スポーツを通じた区民同士の交流や地域コミュニティの形成を進めます。
- ▶ 様々なスポーツに関係する団体・事業者と協働・連携しながら、区民・スポーツ関係者の自発的な運動・スポーツ活動を推進するとともに、健康づくりや障害者スポーツの普及を進めます。
- ▶ 子どもの運動習慣の定着や、健康の維持、体力の向上等に向けた取組を進め、運動習慣の形成を図ります。

成果指標と目標値

成果指標	単位	指標設定の理由	現状値	2030年度目標値
①1回30分以上の運動を週1~2回以上行っている区民の割合	%	区民のスポーツ活動に取り組める環境づくりの成果を計るため	61.4 (2025年度)	66
②障害者の外出の主な目的における趣味・スポーツの割合	%	スポーツを通じて障害者が地域社会に参加する機会の充実度を計るため	28.7 (2022年度)	36.7

(出典) ①中野区区民意識・実態調査 ②障害福祉サービス意向調査

主な取組

①誰もが運動・スポーツに取り組む環境づくり

スポーツ振興課

区内スポーツ施設の利用促進や民間活力の活用などを図りながら、区民の運動習慣の定着を進めていきます。併せて、既存の区有地などをスポーツ利用に活用することで、地域のスポーツ活動の活性化と健康促進を図ります。また、利用者のニーズを的確に捉えた、レベルの高い競技の観戦・体験機会を充実し、スポーツへの関心を高めます。

主な事業

◎スポーツ施設運営 ○区立小・中学校体育施設一般開放事業
◎地域・団体連携事業 ○地域活性化包括連携事業

- ② **スポーツを通じたコミュニティの形成、障害者スポーツの推進** スポーツ振興課
 区民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブを目指すため、クラブの育成や支援に取り組みます。障害の有無に関わらず、様々なスポーツに親しむなど、共生社会の推進に寄与するため、障害者スポーツ、ユニバーサルスポーツの普及啓発に取り組みます。

主な事業	◎地域スポーツクラブ事業 ◎障害者スポーツ事業 ○スポーツ推進委員事業
------	-------------------------------------

- ③ **子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進** スポーツ振興課
 スポーツ施設の一般開放や、学校開放における個人利用、子ども向けの競技体験・教室等を実施し、運動機会の提供や運動習慣の定着に取り組みます。また、学校部活動の地域展開について、児童・生徒の育成や学校と地域とのつながりづくりに取り組みます。

主な事業	◎地域スポーツクラブ事業 ◎部活動の地域展開
------	------------------------

- ④ **様々なスポーツ団体等との協働・連携・支援** スポーツ振興課
 中野区体育協会に加盟する区内各団体等への事業補助のほか、地域スポーツクラブ・公認クラブ等への活動支援により、各地域でスポーツに取り組む区民や団体の活動の活性化を図ります。また、スポーツを支える人材の育成や、人材を必要とする区内スポーツ団体等とのマッチングなどにより、競技力の向上を支援します。

主な事業	○スポーツ推進委員事業 ○スポーツ団体援助事業 ◎地域スポーツクラブ事業
------	--------------------------------------

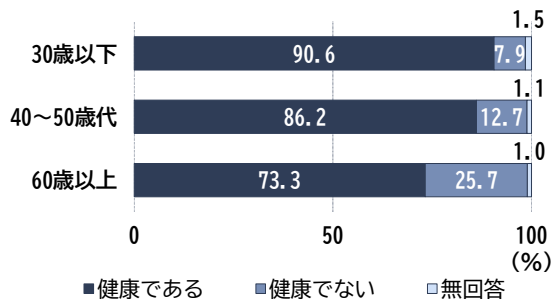
事業の展開

前期	後期
スポーツ施設運営	
<ul style="list-style-type: none"> ●上高田運動施設庭球場の改修 ●スポーツ・コミュニティプラザ、運動施設等指定事業の拡充 ●スポーツ・コミュニティプラザ運営の見直し検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●中部スポーツ・コミュニティプラザ運動広場の改修 ●総合体育館を利用した事業の拡充 <p style="text-align: center;">➡ 推進</p>
地域・団体連携事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ団体補助及び事業委託の再構築 ●スポーツチーム等連携事業の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツチーム等連携事業の拡大
地域スポーツクラブ事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ・コミュニティプラザを活用した事業の拡充 ●スポーツ・コミュニティプラザ運営の見直し検討 ●公認クラブ募集・選定 ●地域スポーツクラブのあり方の検討 	<p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p>
障害者スポーツ事業	
<ul style="list-style-type: none"> ●デフリンピック開催を踏まえた事業の再構築 ●参加者の障害特性に応じた種目、プログラムの改善・拡充 	<p style="text-align: center;">➡ 推進</p> <p style="text-align: center;">➡ 推進</p>
部活動の地域展開	
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ・コミュニティプラザを活用した事業の拡充 	<p style="text-align: center;">➡ 推進</p>

施策 35 健康的な生活習慣が身につく環境づくり

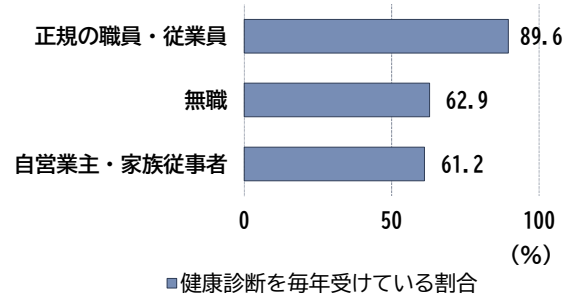
現状データ

現在の健康状態に対する実感



出典：2022 年度健康福祉に関する意識調査

健康診断を毎年受診している人の割合



出典：2022 年度健康福祉に関する意識調査

現状と課題

- 区民の死因のうち、生活習慣との関わりが強い「がん」、「心疾患」、「脳血管疾患」による死亡者の割合は、全体の約 4 割となっています。高齢期における健康状態は、長年にわたる生活習慣の積み重ねによって形成されるため、子どもの頃から健康的な生活習慣の定着が図られるよう、ライフステージに応じた取組を進めるとともに、健康無関心層への働きかけが必要です。併せて、禁煙を希望する区民に対する支援や、望まない受動喫煙による健康被害の防止に取り組む必要があります。
- 人口減少や少子高齢化により世帯構造が変化する中、食に対する価値観や暮らしの在り方も多様化し、健全な食生活を実践することが困難な場面も増えています。乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージやライフスタイル、多様な暮らしに対応した切れ目のない、生涯を通じた食育を推進する必要があります。また、健康的な食生活を送るためには、口の健康を保つ必要があるため、食育の推進と併せて、歯と口の健康づくりに取り組む必要があります。
- 機械化・自動化の進展や移動手段の発達等、生活環境の変化により身体活動・運動の機会が減少しています。日常的に歩きたくなる環境づくりを進めることで、運動習慣へのきっかけづくりとなるような取組を進めていく必要があります。
- 健康づくりを総合的に推進していくためには、区民が健康課題を的確に把握するための健診と疾病の早期発見・早期治療を図るための検診の受診率を向上させることが重要です。併せて、各種データの分析に基づき、健康に関心の低い区民にアプローチすることで、一人ひとりのヘルスリテラシー*の向上を図っていく必要があります。

- 高齢者は身体的脆弱性、複数の慢性疾患や、認知機能や社会的つながりの低下といった多面的な課題を抱えており、このフレイル*と呼ぶ状態への対策には生活習慣病等の重症化を予防する取組と生活機能の低下を防止する取組を一体的に実施する必要があります。KDB システム*のデータをはじめ長寿健診データ等の分析に基づいた後期高齢者の健康課題解決に取り組む必要があります。

施策の方向性

- ▶ 栄養・運動・休養の調和がとれた健康的な生活習慣の定着に向けて、区民一人ひとりの自律的かつ継続的な健康づくりを進めます。
- ▶ 疾病の予防や早期発見・早期治療を促進するため、各種データの収集・分析等に基づく健康づくりを進めます。

成果指標と目標値

成果指標	単位	指標設定の理由	現状値	2030 年度 目標値
①自身の健康状態が「よい」と思う区民の割合	%	主観的健康観を計るため	81.9 (2022 年度)	90
②食べ物や食生活に関して栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている人の割合	%	日々の生活における生活習慣の改善に対する意識を計るため	55.1 (2022 年度)	63

(出典) ①健康福祉に関する意識調査 ②健康福祉に関する意識調査

主な取組

- ① 健康的な生活習慣の定着促進 保健企画課、保健予防課、すこやか福祉センターほか 栄養・運動・休養の調和がとれた健康的な生活習慣の定着に向けて、インセンティブを活用した健康づくりを進め、自律的かつ継続的な健康づくりを促します。併せて、産学公の連携と協働による正しい知識の普及啓発や環境整備を推進します。また、区民一人ひとりが抱える健康課題について理解促進を図るとともに、心の悩みのある区民に対する相談支援と、メンタルヘルスへの正しい知識を広げる心の健康づくりを推進します。

主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域健康学習支援 ○精神保健相談・支援 ○生活習慣病予防対策事業 ◎受動喫煙防止対策事業 ◎禁煙治療費助成 ◎健康づくり普及啓発 ○熱中症予防対策 ◎健康づくりのポピュレーションアプローチ ○中野区地域包括ケア推進パートナーシップ協定制度*の推進
------	---

② データ分析や健診等による健康づくりの支援

保健企画課

特定健康診査や診療報酬明細書などのデータの収集・分析に基づき、ターゲットを絞った保健事業の実施など効果的な事業を展開し、あわせて受診勧奨などを推進しながら、がん等健診の受診率向上に取り組むことで、生活習慣病等の早期発見・早期治療につなげていきます。また、ナッジ理論*を活用した健康に関心の低い区民へのアプローチにより、生涯を通じた健康づくりの支援を進めます。

主な事業	◎がん等健診の実施及び受診勧奨事業の実施 ◎データヘルス事業
------	--------------------------------

③ 食育の推進

すこやか福祉センター、保健企画課

子どもから高齢者までライフステージに合わせて、栄養バランスのとれた食事の大切さや健康的な食習慣、歯と口腔のケア等の普及啓発を進めていきます。また、大学、区内事業者等と連携・協働し、健康的な食事内容の推奨など、暮らしの中で自然に健康的な食生活を送ることができる環境づくりを推進します。

主な事業	○口腔健康学習支援 ○地域栄養活動支援 ○食育推進事業
------	-----------------------------

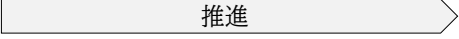
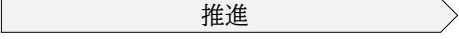
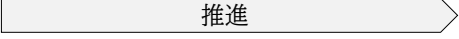
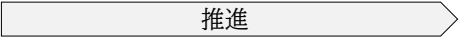
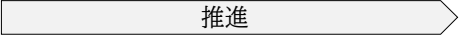
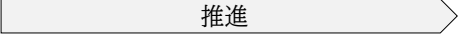
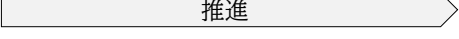
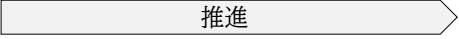
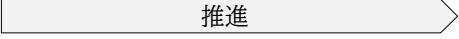
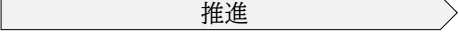
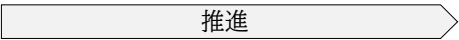
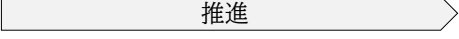
④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

地域包括ケア推進課

低栄養や口腔フレイルのおそれがある高齢者を包括的に支援していくため、ポピュレーションアプローチ*やハイリスクアプローチによりフレイル対策を進めます。

主な事業	◎高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
------	----------------------

事業の展開

前期	後期
地域健康学習支援	
● 依頼・出前講座の充実	
受動喫煙防止対策事業	
● 条例制定	
● 公衆喫煙所設置助成制度の実施	
● 巡回指導、飲食店への啓発・指導の実施	
禁煙治療費助成	
● 禁煙治療費助成の実施	
● コミュニティポイントを活用した禁煙の推進	
健康づくり普及啓発	
● ウォーキングマップ改訂	
健康づくりのポピュレーションアプローチ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業 ● 「健幸どまんなか市」の開催、普及啓発の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自律的かつ継続的な健康づくりの促進推進 
がん等健診の実施及び受診勧奨事業の実施	
● がん等健診の実施	
● コミュニティポイントを活用した受診促進	
データヘルス事業	
● 特定健診等の実施	
● コミュニティポイントを活用した事業参加促進	
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	
● ポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチの実施	● 拡充の検討及び中野区国民健康保険データヘルス計画との連携の検討